

2025年度 大学院生アンケート【健康データサイエンス研究科】集計結果

このアンケートは、大学院の学生を対象に「意欲」「成長実感・満足度」を問うものです。

- 実施期間：2026年2月15日～2026年3月14日 ※研究科毎に実施期間は異なる。
●対象学生：アンケート開始時点で在籍している大学院生 ※休停学、留学中の学生は除く

■回答率

大学院生アンケート	今年度						昨年度				
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
医学研究科	39.00%	(-24.99%)	3.28%	383名	(-207名)	599名	982名	(+60名)	63.99%	590名	922名
スポーツ健康科学研究科	50.26%	(-4.23%)	5.97%	95名	(-2名)	94名	189名	(+11名)	54.49%	97名	178名
医療看護学研究科	83.02%	(-4.48%)	3.63%	88名	(+4名)	18名	106名	(+10名)	87.50%	84名	96名
保健医療学研究科	81.48%	(+5.62%)	4.38%	66名	(+22名)	15名	81名	(+23名)	75.86%	44名	58名
国際教養学研究科	14.29%	(-85.71%)	55.88%	2名	(-6名)	12名	14名	(+6名)	100.00%	8名	8名
健康データサイエンス研究科	23.68%	—	24.27%	9名	—	29名	38名	—	—	—	—
★全学部合計(平均)	45.60%	(-19.61%)	2.39%	643名	(-180名)	767名	1410名	(+148名)	65.21%	823名	1262名

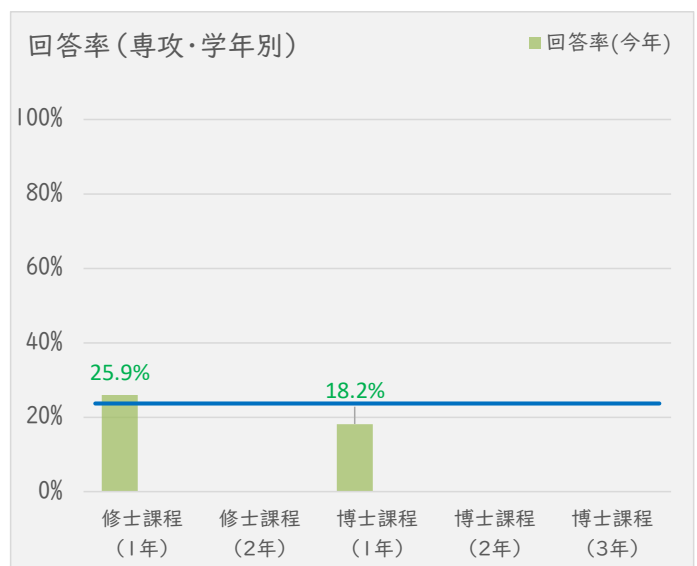
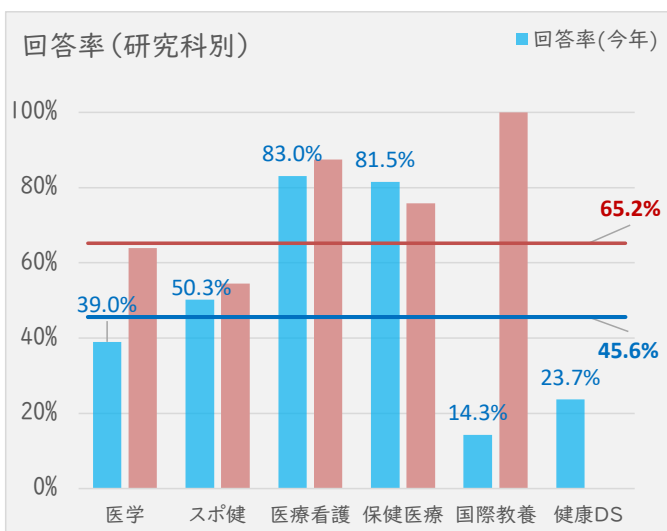
健康データサイエンス研究科 (専攻・学年別)	今年度						昨年度				
	回答率	(昨年比)	許容誤差*	回答者	(昨年比)	未回答者	対象者	(昨年比)	回答率	回答者	対象者
修士課程・1年生	25.93%	—	27.27%	7名	—	20名	27名	—	—	—	—
修士課程・2年生	—	—	—	0名	—	0名	0名	—	—	—	—
博士課程・1年生	18.18%	—	55.17%	2名	—	9名	11名	—	—	—	—
博士課程・2年生	—	—	—	0名	—	0名	0名	—	—	—	—
博士課程・3年生	—	—	—	0名	—	0名	0名	—	—	—	—
修士課程(平均)	25.93%	—	27.27%	7名	—	20名	27名	—	—	—	—
博士課程(平均)	18.18%	—	55.17%	2名	—	9名	11名	—	—	—	—
★全学部合計(平均)	23.68%	—	24.27%	9名	—	29名	38名	—	—	—	—

※ 許容誤差：信頼水準90%の場合、母集団からどの位の誤差が生じているかを表す指標（推奨目安：5%以内）

※ 表内色種：上位1項目：緑背景、平均以下：赤背景、許容誤差については5%以上が赤背景

※ 標記上、一部「博士前期課程=修士課程」「博士後期課程=博士課程」とする。

※ 国際教養学研究科修士課程：2024年度 第1期生 / 保健医療学研究科博士後期課程・健康データサイエンス研究科：2025年度 第1期生



■ アンケート結果

※グラフ中の数値は回答数

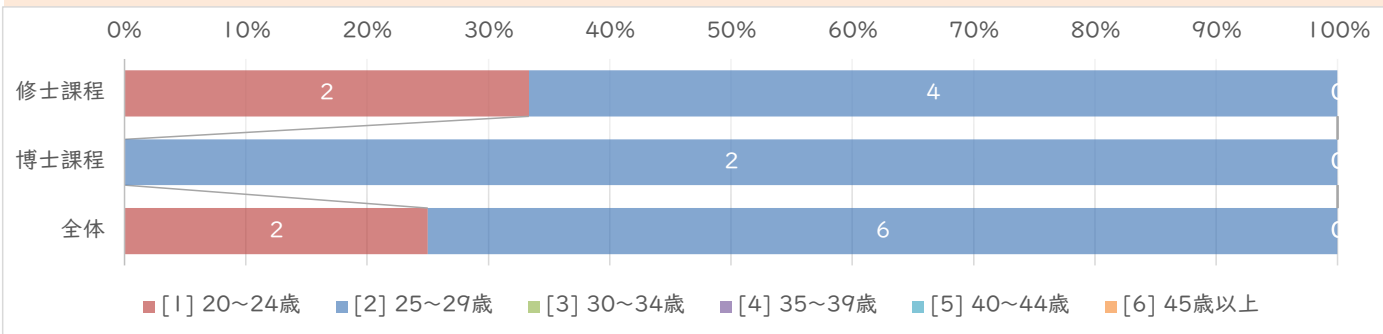
【1. 研究科共通の基本的な設問】

各課程の1年生のみ対象

N=8

Q1-01. あなたの年齢について

[全研究科共通]

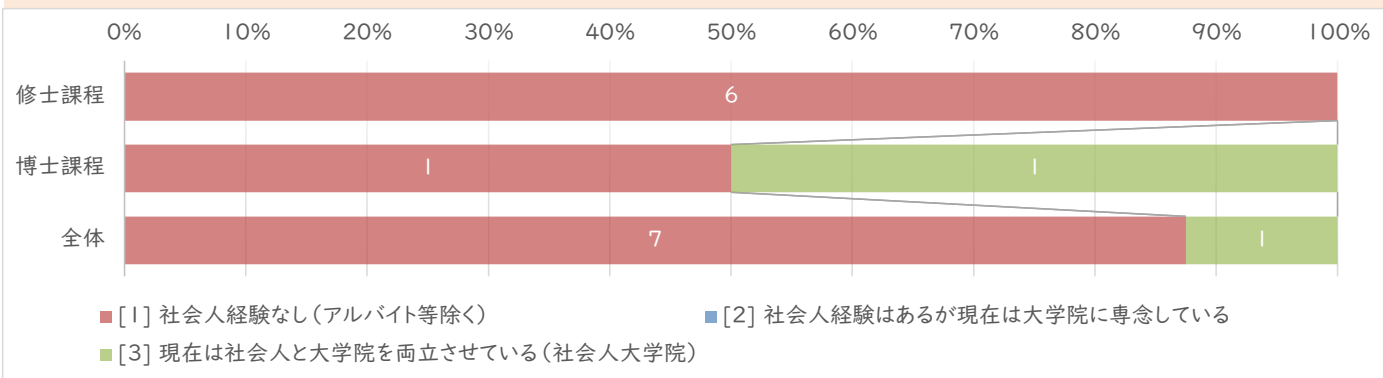


※各課程の1年生のみ対象

N=8

Q1-02. 社会人経験について

[全研究科共通]

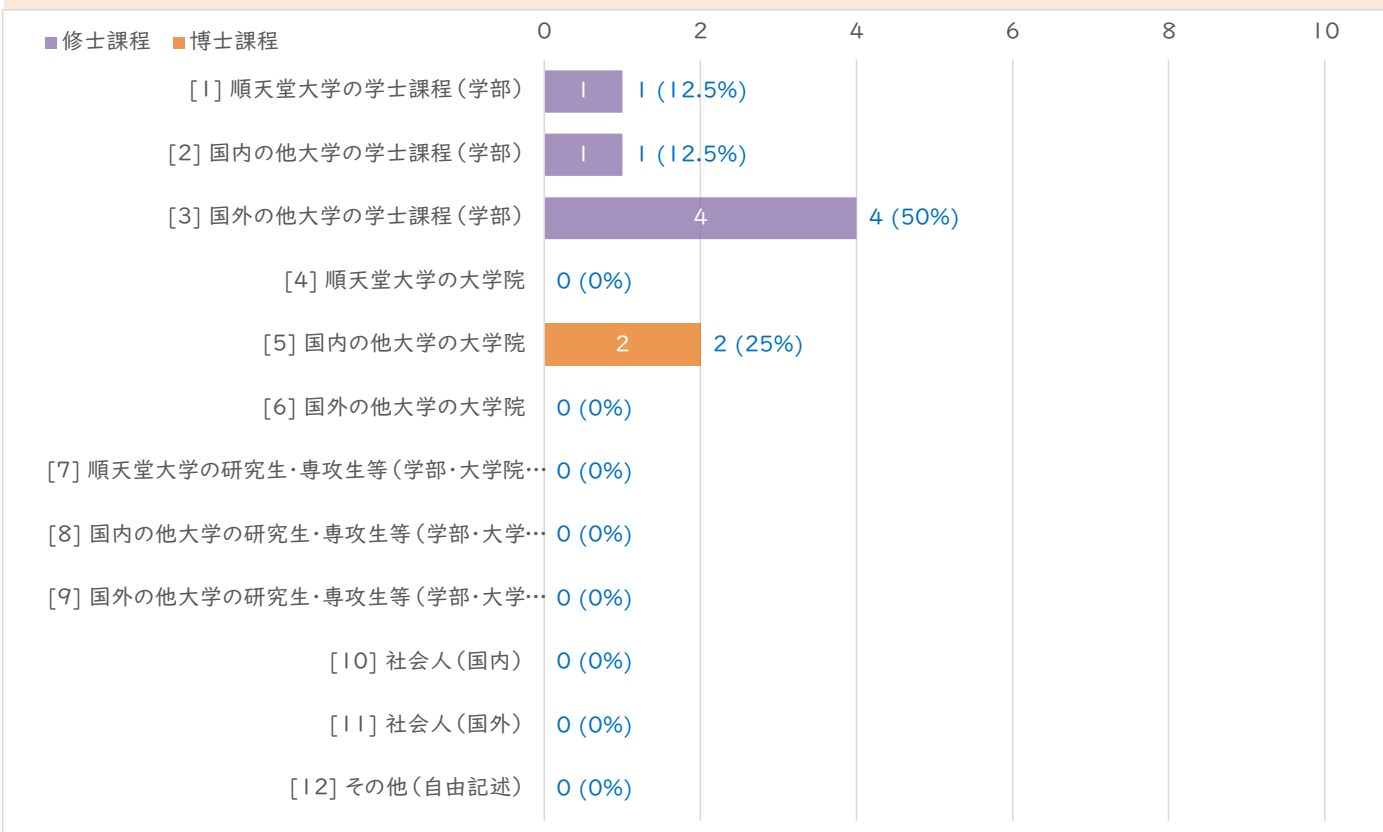


※各課程の1年生のみ対象

N=8

Q1-03. 大学院に入学する前の所属について

[全研究科共通]



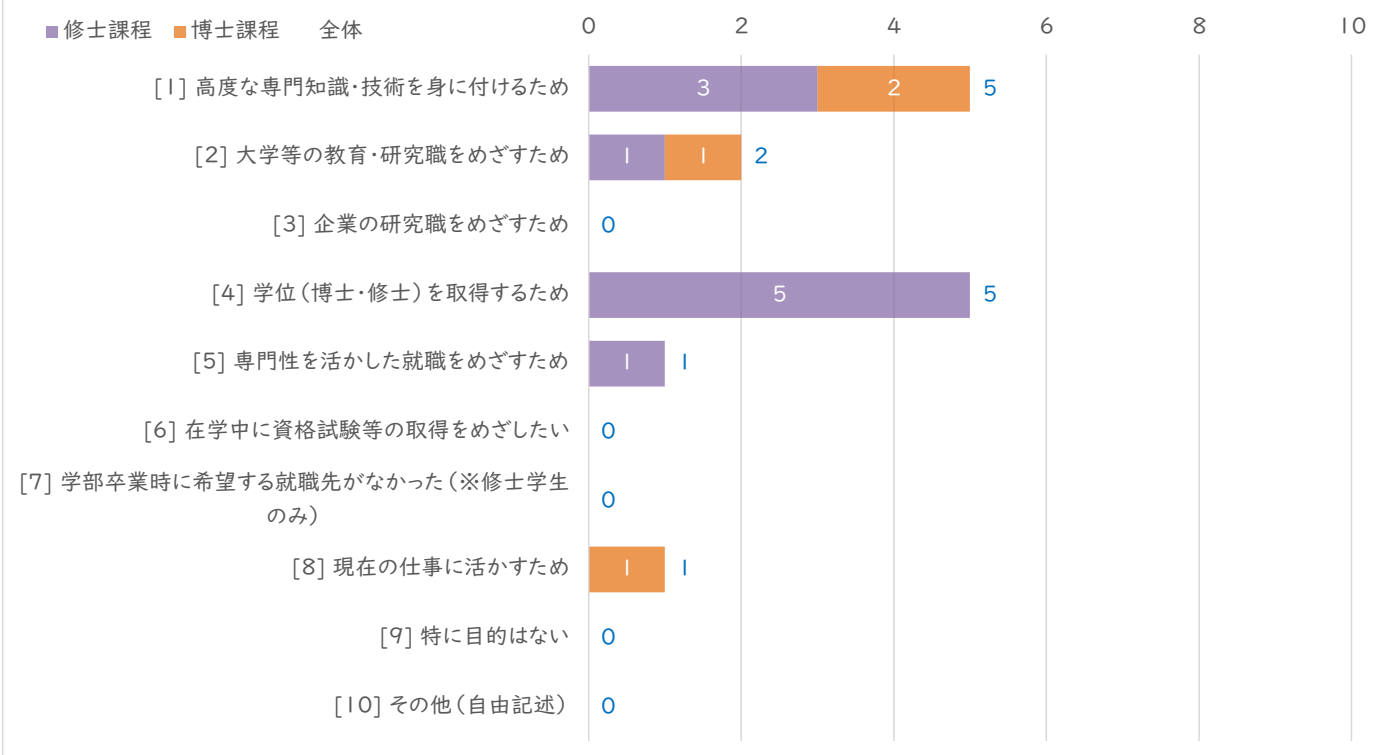
【1. 研究科共通の基本的な設問】

(続き)

※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

MAの回答数合計 → N=14

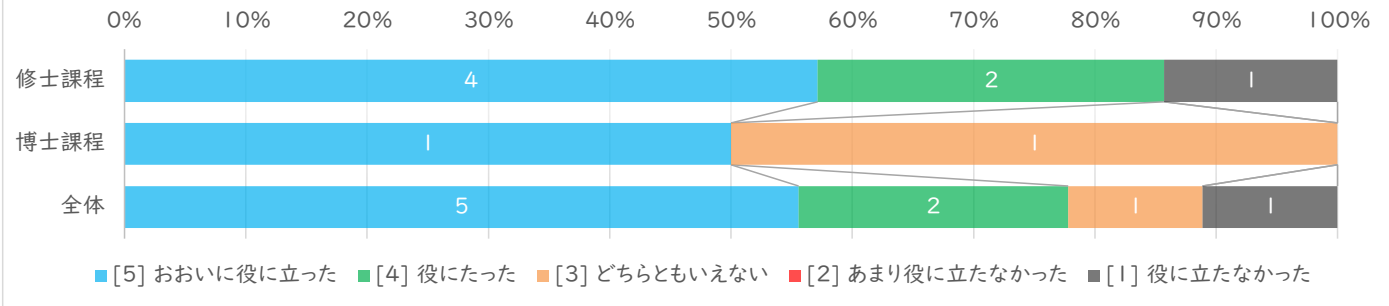
Q1-04. 大学院に入学した目的はどれにあたりますか。(2つ選んでください) [全研究科共通]



※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

N=9

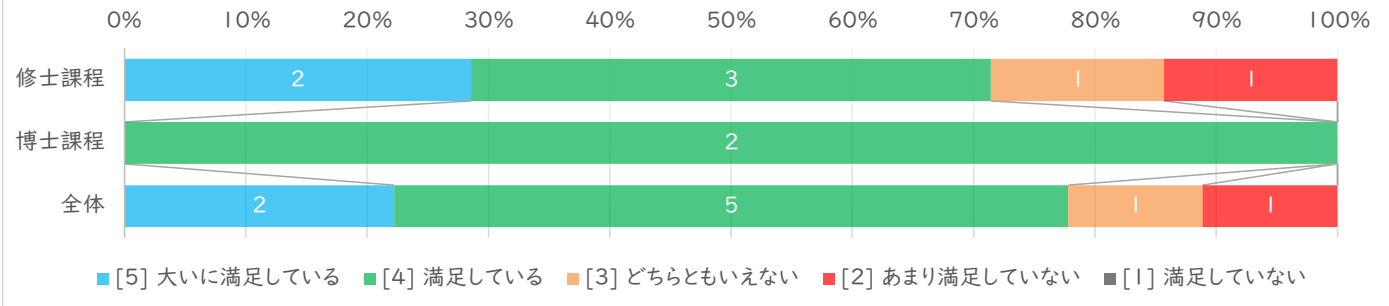
Q1-05. 授業科目の履修にあたって「シラバス」の情報は役に立ちましたか。 [全研究科共通]



※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

N=9

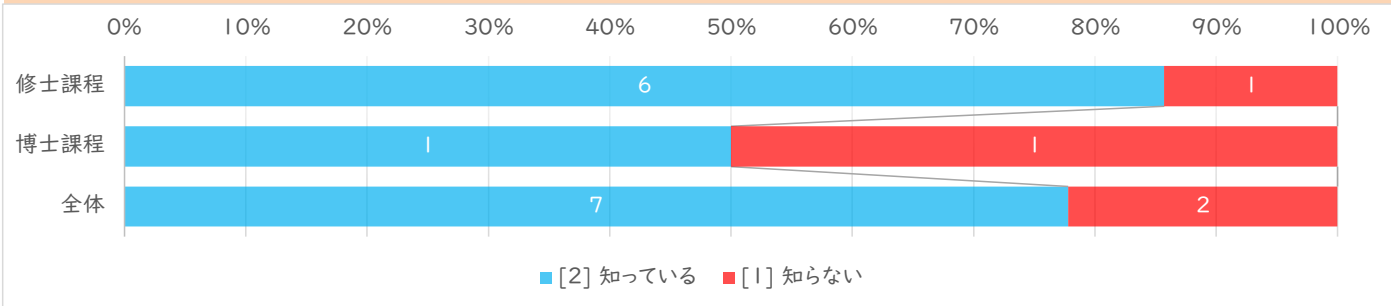
Q1-06. 大学・研究室の設備・機器・什器備品には満足していますか。 [全研究科共通]



【1. 研究科共通の基本的な設問】 (続き)

※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象 N=9

Q1-07. あなたは自分が所属する研究科・専攻のディプロマポリシー (DP) を知っていますか。 [全研究科共通]



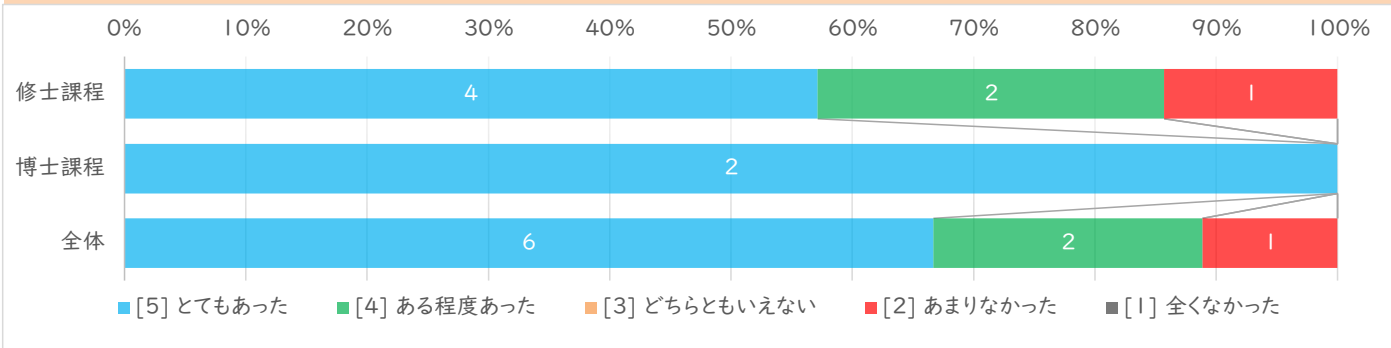
※ 最終学年の学生のみ対象 N=0

Q1-08. 本研究科での教育課程 (カリキュラム) は、学位授与方針 (DP) に相応しい内容やレベルでしたか。 [全研究科共通]

※ 該当学生無し

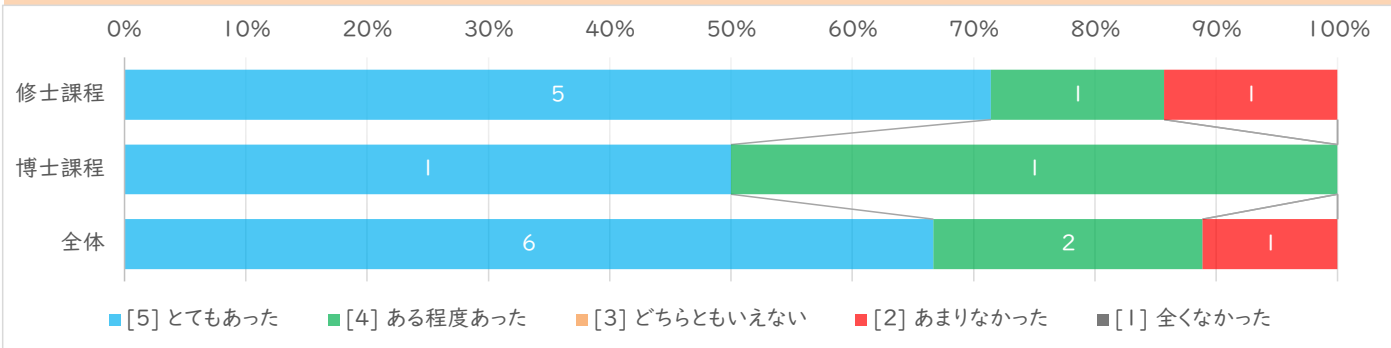
※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象 N=9

Q1-09. 研究テーマ選択の自由度はありましたか。 [全研究科共通]



※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象 N=9

Q1-10. 研究遂行にあたり、研究室から研究内容に関する情報提供はありましたか。 [全研究科共通]



【1. 研究科共通の基本的な設問】

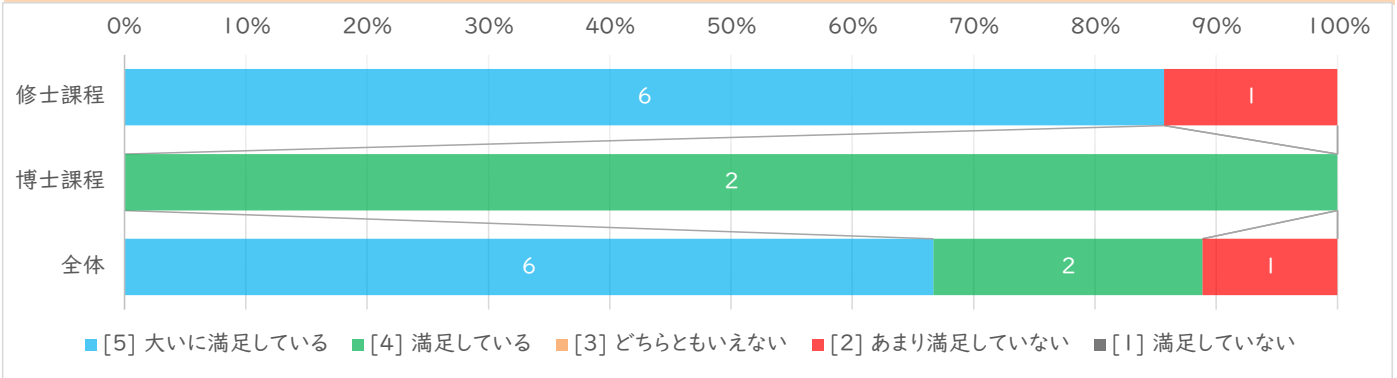
(続き)

※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

N=9

Q1-11. 教員の教育力および研究力に満足していますか。

[全研究科共通]

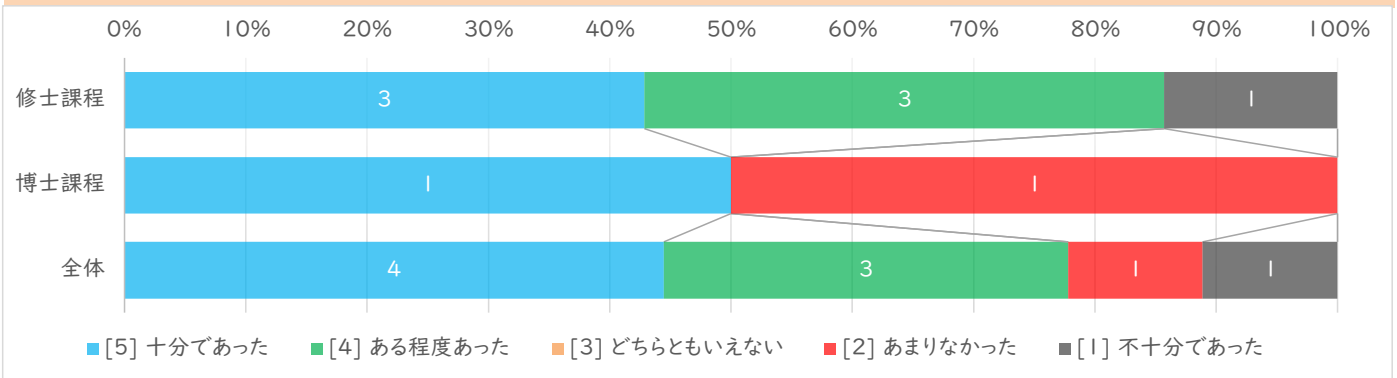


※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

N=9

Q1-12. 大学院生に対する奨学金、TA・RA等の経済的支援は十分でしたか。

[全研究科共通]

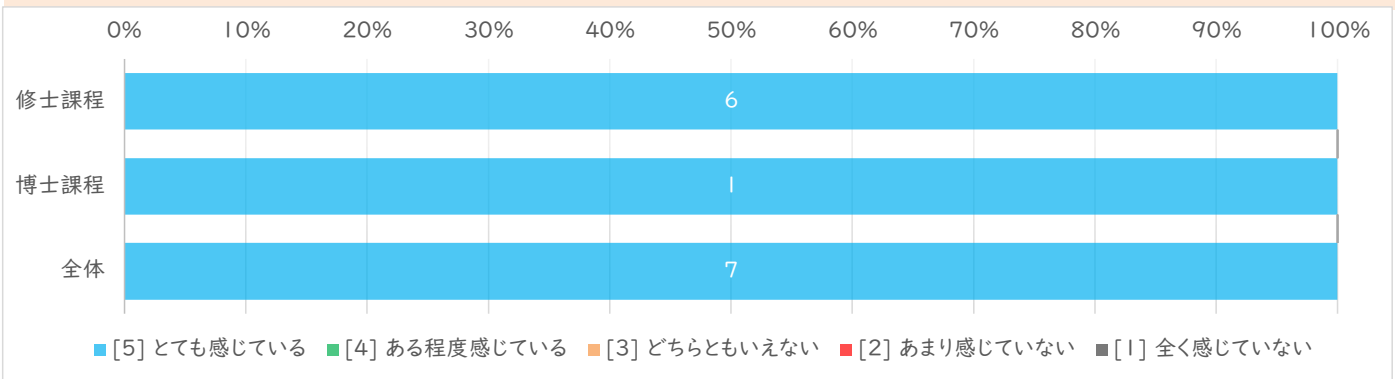


※ 英語・日本語を母国語としない学生のみ対象

N=7

Q1-13. 英語・日本語を身につける必要性を感じていますか。

[全研究科共通]

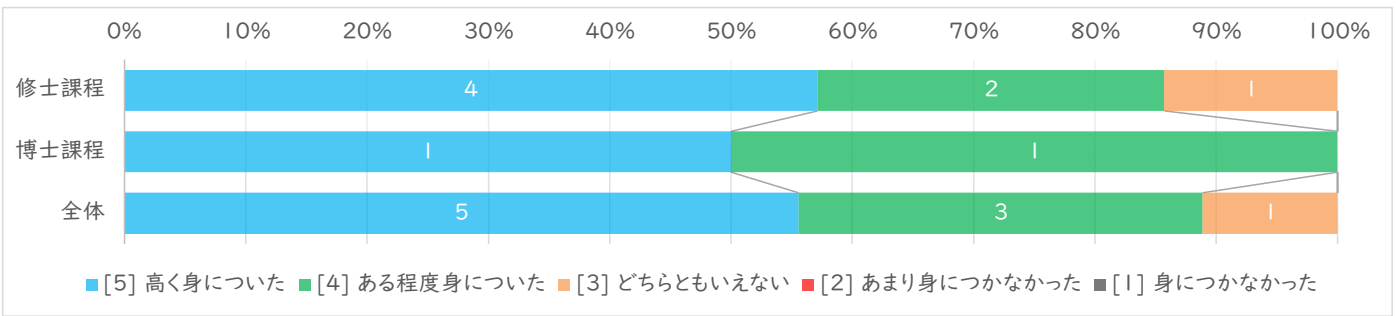


【2. 高度な専門知識・技能及び対応力に関する設問】

※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象 N=9

Q2-01. 専門領域の基礎的知識を収集する能力が身につきましたか。 [全研究科共通]

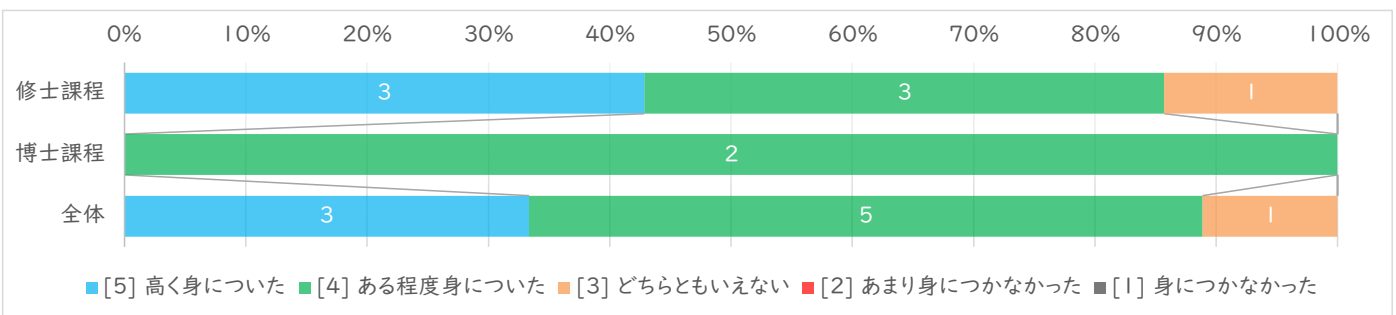
※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象 N=9

Q2-02. 専門領域における未解決問題を導き出す能力が身につきましたか。 [全研究科共通]

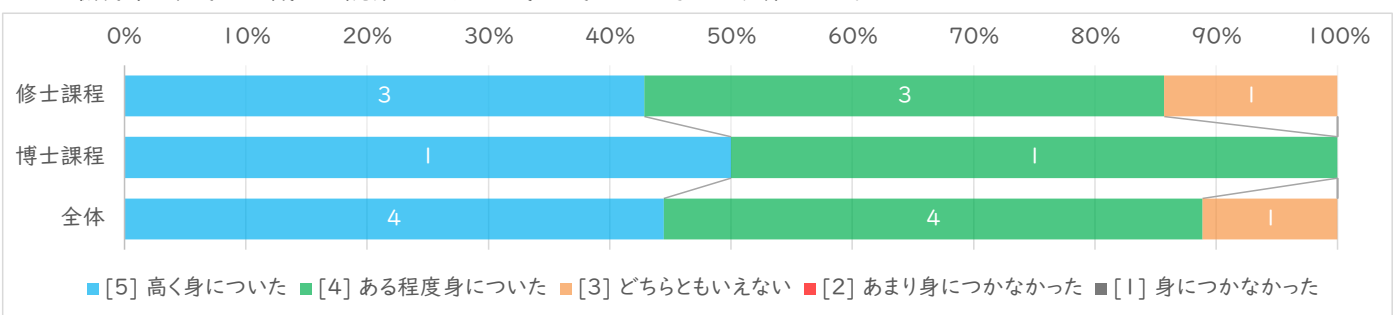
※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象 N=9

Q2-03. 専門領域に関する知識を問題解決に応用する能力が身につきましたか。 [全研究科共通]

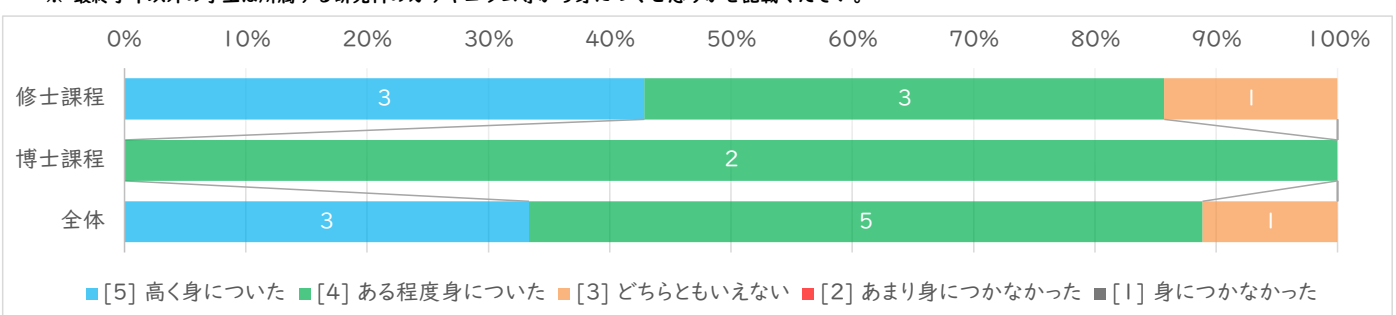
※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象 N=9

Q2-04. 結論および結論を導き出す過程を論理的に考え結論を導き出す能力が身につきましたか。 [全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



【3. 高度な教養及び国際性に関する設問】

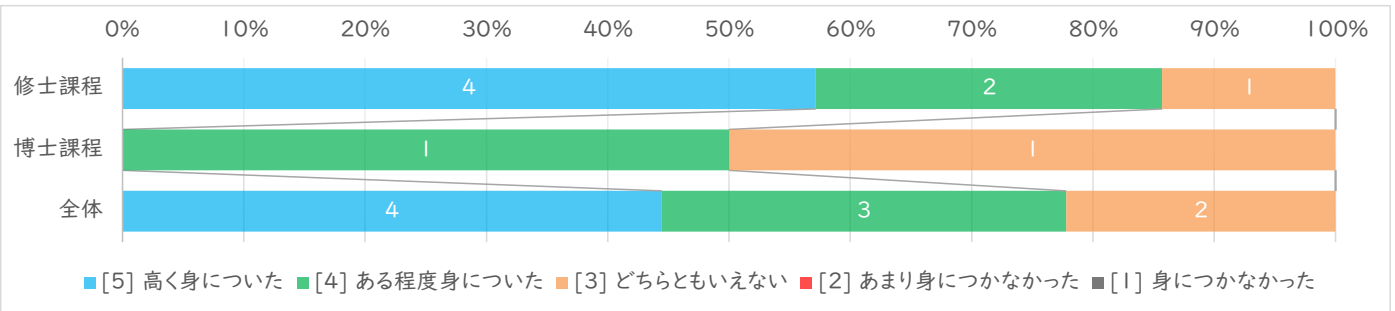
※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

N=9

Q3-01. 大学院へ入学し、グローバルな視点から多面的にものごとを考える能力が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



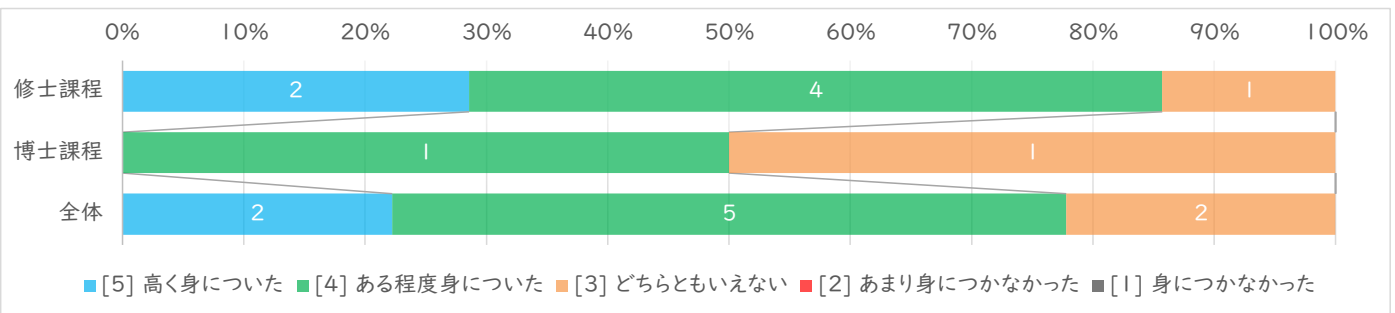
※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

N=9

Q3-02. 社会の諸問題を理解し、問題解決に主体的に取り組む姿勢が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



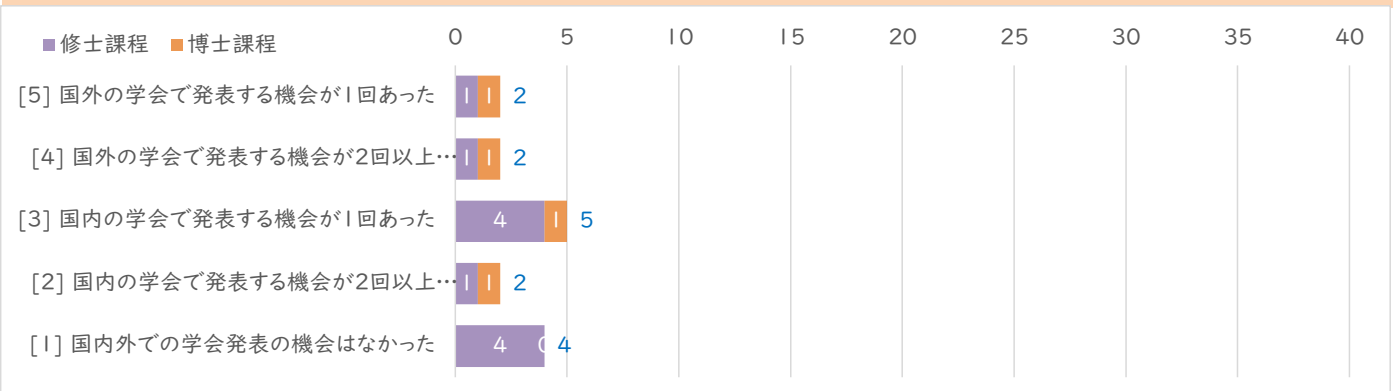
※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

MAの回答数合計 → N=15

Q3-03. 専門領域に関する知識を国内外の学会で発表する機会がありましたか（在学期間中）

※複数回答可

[全研究科共通]



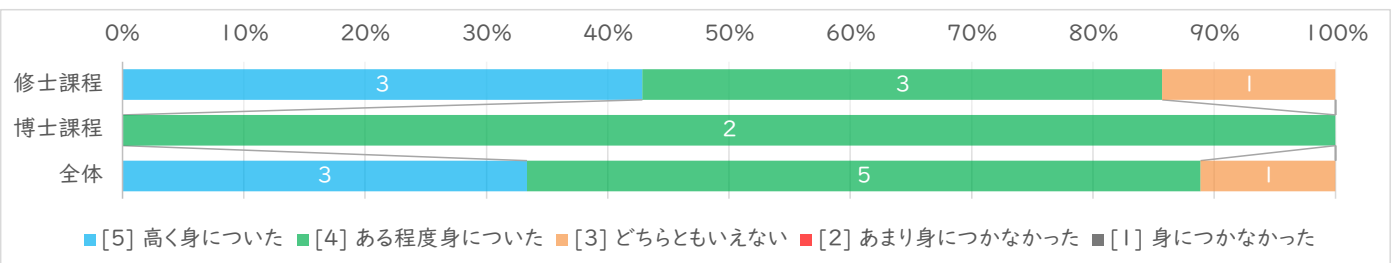
※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

N=9

Q3-04. 国際的に活動し国際社会に貢献する高い意識と意欲が身につきましたか。

[全研究科共通]

※ 最終学年以外の学生は所属する研究科のカリキュラム等から身につくと思うかを記載ください。



【α. その他（研究科別）】

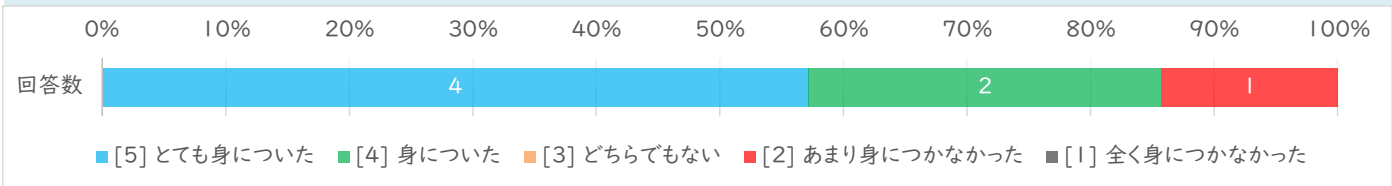
※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

Qα-01. 以下は、健康データサイエンス研究科のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）です。 [研究科別]
 それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

<博士前期課程 (M) >

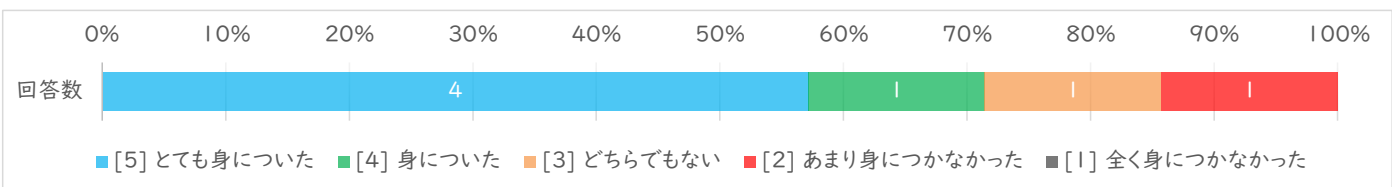
N=7

① データサイエンスの基盤となる統計学及びコンピュータサイエンスの深くかつ広範な専門知識と実践力を備えた人材を育成する。



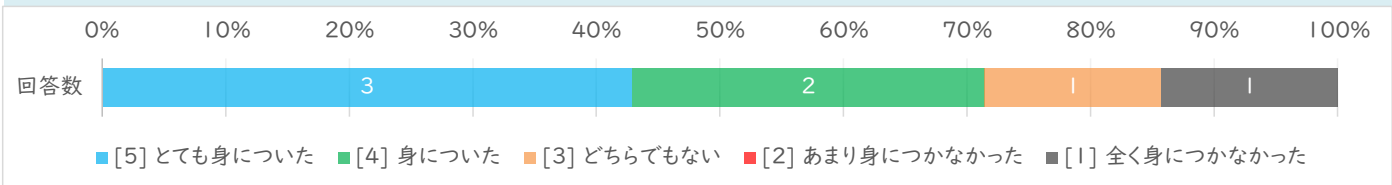
N=7

② 医学や医療に関する知識を有し、AI技術やデータ分析に専門的で高度な実践力を備えたデータサイエンティストを育成する。



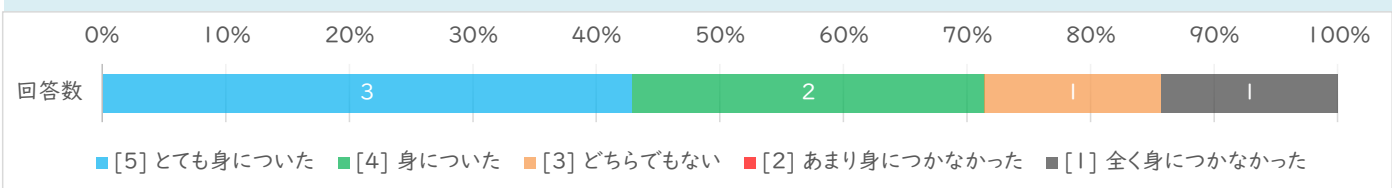
N=7

③ サイバーセキュリティに関する専門的知識を持ち汎用的に活用することができる人材を育成する。



N=7

④ 先端的データサイエンスの教育研究を実現する新たな教育理論の開発や実践展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。



【α. その他（研究科別）】 (続き)

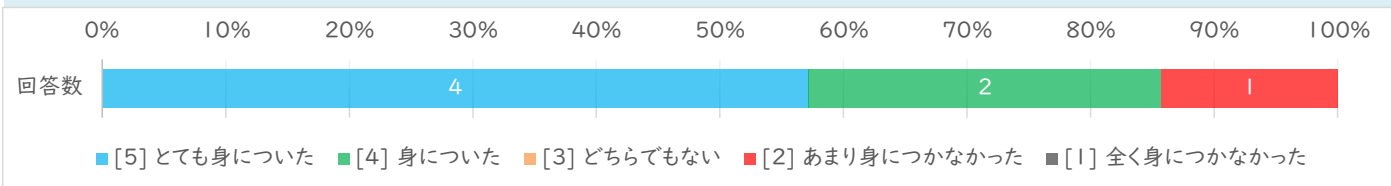
※ 健康データサイエンス研究科生 全員対象

Qα-01. 以下は、健康データサイエンス研究科のディプロマ・ポリシー（学位授与方針）です。 [研究科別]
 それぞれ、身についているかどうか、自己評価してください。

< 博士後期課程 (D) >

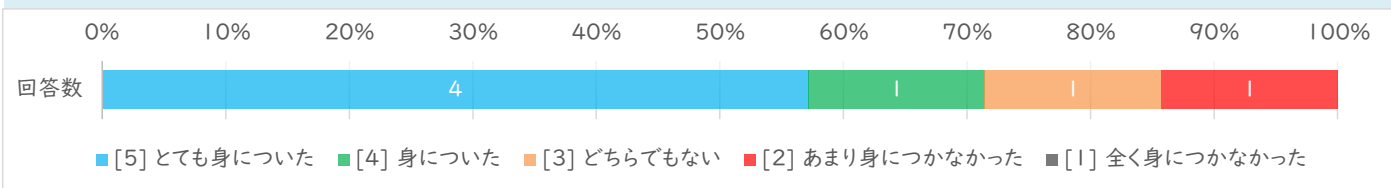
N=2

① データサイエンスの基盤となる統計学及びコンピュータサイエンスの深くかつ広範な専門知識と実践力に加え、国際レベルの発信力を備えた人材を育成する。



N=2

② 医学・医療に関する知識を有し、AI技術やデータ分析に専門的で高度な研究力と実践力を持ち、21世紀の高度情報化社会の進展に寄与できるデータサイエンティストを育成する。



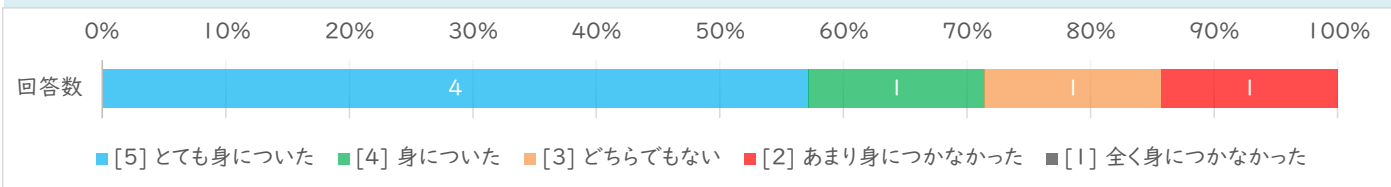
N=2

③ サイバーセキュリティの深くかつ広範な専門知識に基づいた実践応用力を備えることに加え、先進的な研究や技術開発により、新たな価値を生み出すことができる人材を育成する



N=2

④ 新たな知見の創造を目的に、自立して先端的データサイエンス教育研究をより深く探究し、国際社会や地域社会へ貢献するとともに学術的進展に寄与する人材を育成する。



End